

			2024年度		授業計画	
自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科						
時 期	2 年B巡	単 元	実 習	教科名	電装品整備1	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	T S 3 級電装		発行日	
			T S 4 級電装			
総時限	23時限 (36時間)				教科担当	教科担当
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の分解・組立・点検等について指導する。						
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)						
1. TS 3 級の技術能力要件の電圧点検、エアコン関係の作業ができる。 ・電動格納ミラーの電圧点検が行う事ができる。 ・エアコンについては、整備要領書にしたがって性能点検ができる。						
3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何ができるようになるのか)						
1. お客さまの車両を取り扱う上での注意事項を理解させ、実際に気を使いながら取り扱うようにする。 2. サークルチェックの重要性を理解させ、実習開始前には、自然とチェックしているようにする。 3. サーキットテストを正しく使う事ができる。 4. 正しい作業姿勢を常に意識させること。 5. 正常時と異常時の電圧分布の違いから異常な部分を見つける事ができる。 6. ゲージマニホールドを正しく取り扱う事ができ、数値を読みとる事ができる。 7. 冷媒の回収作業ができる。						
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)						
実技試験と筆記試験の合計点が60(70)点以上を合格とする。(実技試験55点%、筆記試験15、レポート15点、行動評価15点)						
5. 準備学習						
T S 3 級電装、T S 4 級電装の教科書を事前に読み予習を行う。						

授業計画

[illegible]

■：対面授業

		2024年度		授業計画	
自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科					
時 期	2 年B巡	単 元	実 習	教科名	電装品整備1
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	エンジン始動	周囲に声掛けを行い確認してから始動すること 窓越しの始動は禁止する。		高圧バルブが開いている状態で、ガス充てんしたためコンプレッサが破損した。 不意に車が動き出し、構内で接触事故を起こした。	
2	配線作業	配線のつながい合わせに間違いがないこと。			
3	クーラーガス充てん	高圧バルブが閉じていることを確認後に充てんを開始させること。 サービス缶の取扱注意事項を遵守させること。 充てん中は高圧バルブを開けないことを徹底すること。			
4	輪止め	実習車両に輪留めを掛ける。			
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場			座学教室		